

論文審査の結果の要旨

氏名：西 村 光 司

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：我が国の B 型肝炎ウイルス母子感染予防法の効果に関する多施設共同臨床研究

審査委員：（主 査） 教授 越 永 從 道

（副 査） 教授 中 嶋 秀 人 教授 兼 板 佳 孝

教授 根 東 義 明

わが国では、B型肝炎ウイルス母子感染予防に出生児に対する抗 HB ヒト免疫グロブリン(HBIG)筋注と HB 予防接種による予防法が施行されている。現在、国際方式を取り入れた新方式（2013年11月から施行）で施行されているが、わが国で発案された旧方式（1985年6月から2013年11月まで施行）と比較検討した報告はない。そこで本研究は、新方式と旧方式予防法の効果を比較検討した。対象は HBs 抗原陽性妊婦から出生した児である。出生後 HBIG と HB ワクチンをプロトコールに則り接種する。その結果、新方式と旧方式とでは、統計学的有意差はなかったが、旧方式では児の HBs 抗体獲得割合が 100%であったのに対し、新方式では 98%であった。いずれも国際方式ならびに既報の 95%を上回る数値で、満足すべき結果であった。新方式では、頻度は少ないが、HBs 抗体獲得できない児が存在することがわかった。

以上のとおり、本研究論文は、本邦において未だ B 型肝炎に対する母子感染予防処置の有効性が証明されていないなか、その有効性を明らかにすべく多施設共同で実施した社会的価値の高い調査研究である。

本研究は学術的および臨床的意義は高く、学位論文として価値のあるものと思われる。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

令和 2 年 2 月 19 日